

2018年度セメント需要見通し

2018年2月
一般社団法人セメント協会

➤ 国内需要

2018年度の国内需要は、42,000千tと見通した。

官需について、国の2018年度公共事業予算案はほぼ前年並みであるが、労務費上昇などによって事業量減少が懸念される。一方で2016年度、2017年度補正予算の効果は一定量期待される。民需について、住宅投資の消費税率アップ(2019年10月)を控え駆け込み需要や、設備投資の都市部における再開発工事、2020年東京オリンピック・パラリンピック関連工事により引き続き好調に推移すると見込んだ。以上の背景から、42,000千t(前年比100.5%)と見通した。

(単位:千t、%)

項目	官需		民需		合計	
		前年比		前年比		前年比
2017年度見込み	20,900	99.0	20,900	101.1	41,800	100.1
2018年度見通し	21,000	100.5	21,000	100.5	42,000	100.5

➤ 輸 出

2018年度の輸出は、12,000千tと見通した。

アジア諸国及びオセアニアを中心にインフラ整備事業を背景として、依然根強い引合いが期待されることから、前年並みの12,000千t(前年比100.0%)程度と見通した。

(単位:千t、%)

項目	輸出	
		前年比
2017年度見込み	12,000	104.1
2018年度見通し	12,000	100.0

以 上